

滋賀県蒲生郡竜王町

## 商店街全体をホテルに見立てた「講 大津百町」により地域経済の活性化を実現

「みんなが喜ぶ家づくり」を理念に関西を拠点とする工務店。2018年6月に滋賀県大津市にある商店街の空き店舗7棟をホテルに改修し商店街ホテル「講 大津百町」をオープンした。ホテル業により、工務店として培ってきた建築文化の継承や大工技術による新たな価値を創造し、空き家の新しい活用方法を提案することで地方創生・地域活性化を目指すものである。

●所在地	滋賀県蒲生郡竜王町山之上3409	●設立	1995年
●電話/FAX	0748-57-1990/0748-57-1835	●資本金	900万円
●URL	<a href="https://taniguchi-koumuten.jp/">https://taniguchi-koumuten.jp/</a>	●従業員数	105名
●代表者	代表取締役 谷口 弘和		



需要獲得

### かつての東海道五十三次 最大の宿場町「大津」を復活

新たな施設や名物・名産品を作るのではなく、昔から息づく文化や風土、人々の営みを観光資源化して地域を活性化するモデルをつくるのが事業コンセプト。商店街にある飲食店や銭湯等の地域資源を、そのままホテルコンテンツとして活用。街の魅力を知り尽くしたローカル・コンテンツ・エディター（コンシェルジュ）が宿泊者のあらゆる相談に対応している。地域に溶け込んだ商店街のなかで町家に泊まるという大津でしかできない特別な体験を提供している。



商店街のホテルコンテンツ活用

### 地域資源の有効活用とインバウンド需要の効率的な獲得

かつて東海道最大の宿場町として栄えた大津は交通アクセスが良く京都から電車でわずか9分の好立地である。三井寺などの歴史的建造物が建ち並び、外国人旅行者も訪れている。商店街の名店を案内するガイドツアーも好評を得ている。自社のPRではなく、地域のイベントをSNSで発信することで、街を訪れる人全員に対してホテルを知ってもらうきっかけを作っている。



商店街を案内するガイドツアーの様子

### 地域活性化によって生まれる相乗効果

「暮らしを豊かにし、街を豊かにし、感動をつくる地域貢献をしていきたい」という想いで事業をスタートした。伝統的な大津町家をホテルに転用することで、地域の観光需要を創出している。また、室内の調度品やアメニティーも滋賀県産のものを多く使用し、地元商店街、事業主がそれぞれメリットを享受できる。地域活性化をボランティアではなく、経済活動で達成する仕組みを構築することで、付加価値の向上にもつながっている。



地元から仕入れた食材を積極的に採用

サービス